

2018年(平成30年) 3月期 第1四半期
2017年(平成29年) 4月1日 ~ 2017年(平成29年) 6月30日

連結決算の概要

株式会社 ジェイ・エム・エス

(証券コード 7702)

2017年8月9日

業績ハイライト

～2018年3月期 第1四半期～



百万円

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減額	対前年同四半期 増減率
売上高	13,336	13,240	△95	△0.7%
営業利益	121	46	△75	△62.0%
経常利益	209	148	△60	△29.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	84	238	153	183.3%
一株当たり 四半期純利益	1円72銭	4円88銭	---	---

為替換算レート (期中平均)	米ドル	108.14円	111.09円
	ユーロ	127.23円	121.08円
	シンガポールドル	79.56円	79.79円

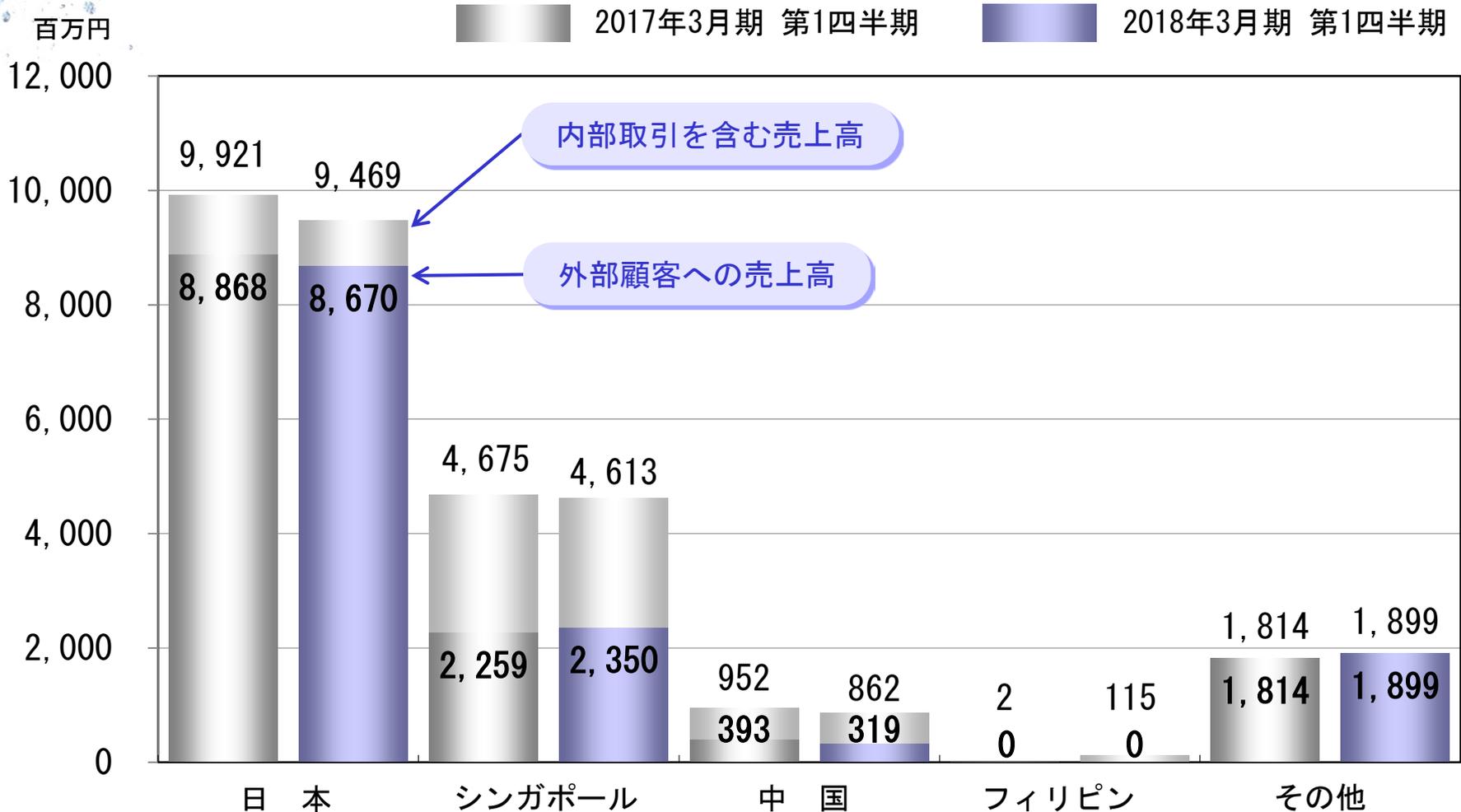
～減収増益～

(2期連続減収も純利益は3期連続増益)

売上	日本	-抗がん剤調製・投与クローズドシステム 「ネオシールド」の販売が拡大 -輸液セットの販売が減少	利益	-減収の影響に加え販売費の増加により営業利益は減少 -法人税等調整額を計上した結果、四半期純利益は増加
	海外	-血液バッグの販売が増加 -ダイアライザーの販売が減少		

セグメント業績・売上高

※所在地別



*報告セグメントの区分及び名称の記載方法を変更しています。詳しくはP6をご参照ください。

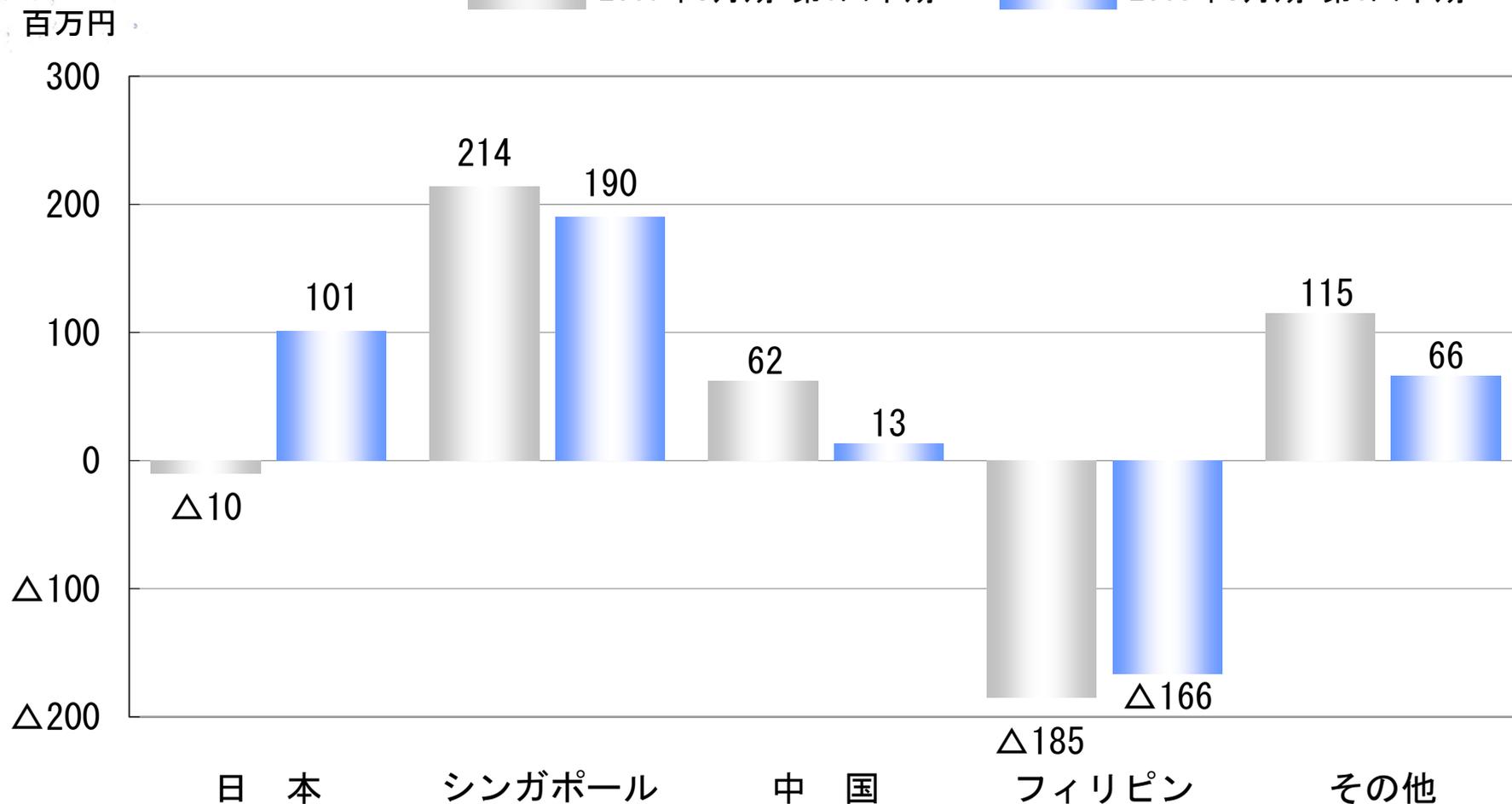
セグメント業績・利益

※経常利益ベース



2017年3月期 第1四半期

2018年3月期 第1四半期



*報告セグメントの区分及び名称の記載方法を変更しています。詳しくはP6をご参照ください。

セグメント業績

※所在地別

対前期増減率



日本

売上高	9,469 百万円	△4.6%
セグメント利益	101 百万円	—%

抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」の販売が拡大したものの、輸液セットの販売が減少。利益は減収の影響があるものの、子会社からの受取配当金の計上により黒字化。



シンガポール

売上高	4,613 百万円	△1.3%
セグメント利益	190 百万円	△11.0%

日本向けの人工腎臓用血液回路の販売が減少。利益は販売費の増加により減少。

※シンガポールは、インドネシアの現地法人を含んでおります。



中国

売上高	862 百万円	△9.4%
セグメント利益	13 百万円	△78.4%

中国国内向けのダイアライザー(人工腎臓)の販売が減少。利益は減収の影響に加え、販売費の増加により減少。



抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」

抗がん剤を調製・投与する際に使用される医療機器です。閉鎖系の機構により薬剤飛散リスクを軽減し、医療従事者の方々を抗がん剤曝露から守ります。

セグメント業績

※所在地別

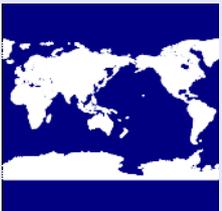
対前期増減率



フィリピン

売上高	115 百万円	—%
セグメント損益	△166 百万円	—%

日本向けの輸液セットの販売が増加。損益は外貨建ての借入金にかかる為替変動が有利に作用したこともあり改善。



その他

売上高	1,899 百万円	4.7%
セグメント利益	66 百万円	△42.4%

※その他は、国内子会社及びドイツ、アメリカ、韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。



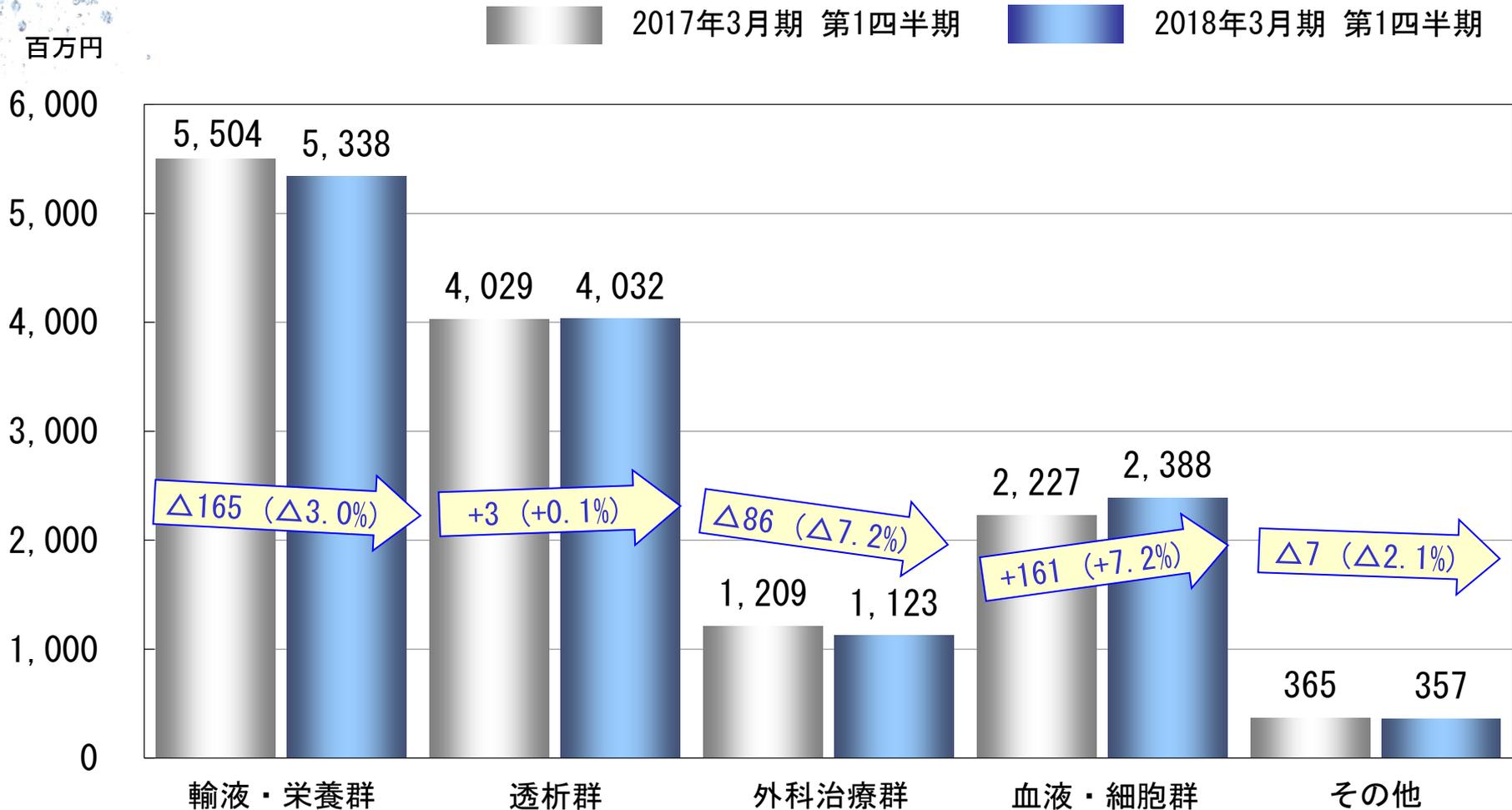
AVF針（血液透析用針）

血液透析を行う際に、シャント（動脈と静脈を接合した部位）から血液を体外へ取り出すための針です。

～当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分及び名称の記載方法を変更しています～

- ・従来「その他」に含まれていた「フィリピン」は重要性が増したため、報告セグメントとして記載しています。
- ・従来の「ドイツ」及び「アメリカ」は「その他」に含めています。
- ・従来の「東南アジア」は「シンガポール」に名称変更しています。
- ・前期のセグメント情報は、変更後の区分及び名称により作成したものを記載しています。

システム別売上高



*組織再編に伴いシステム別の記載区分を変更しています。

*前期のシステム情報は、変更後の区分及び名称により記載しています。

地域別売上高

※顧客所在地別

2017年3月期 第1四半期 2018年3月期 第1四半期

百万円

10,000

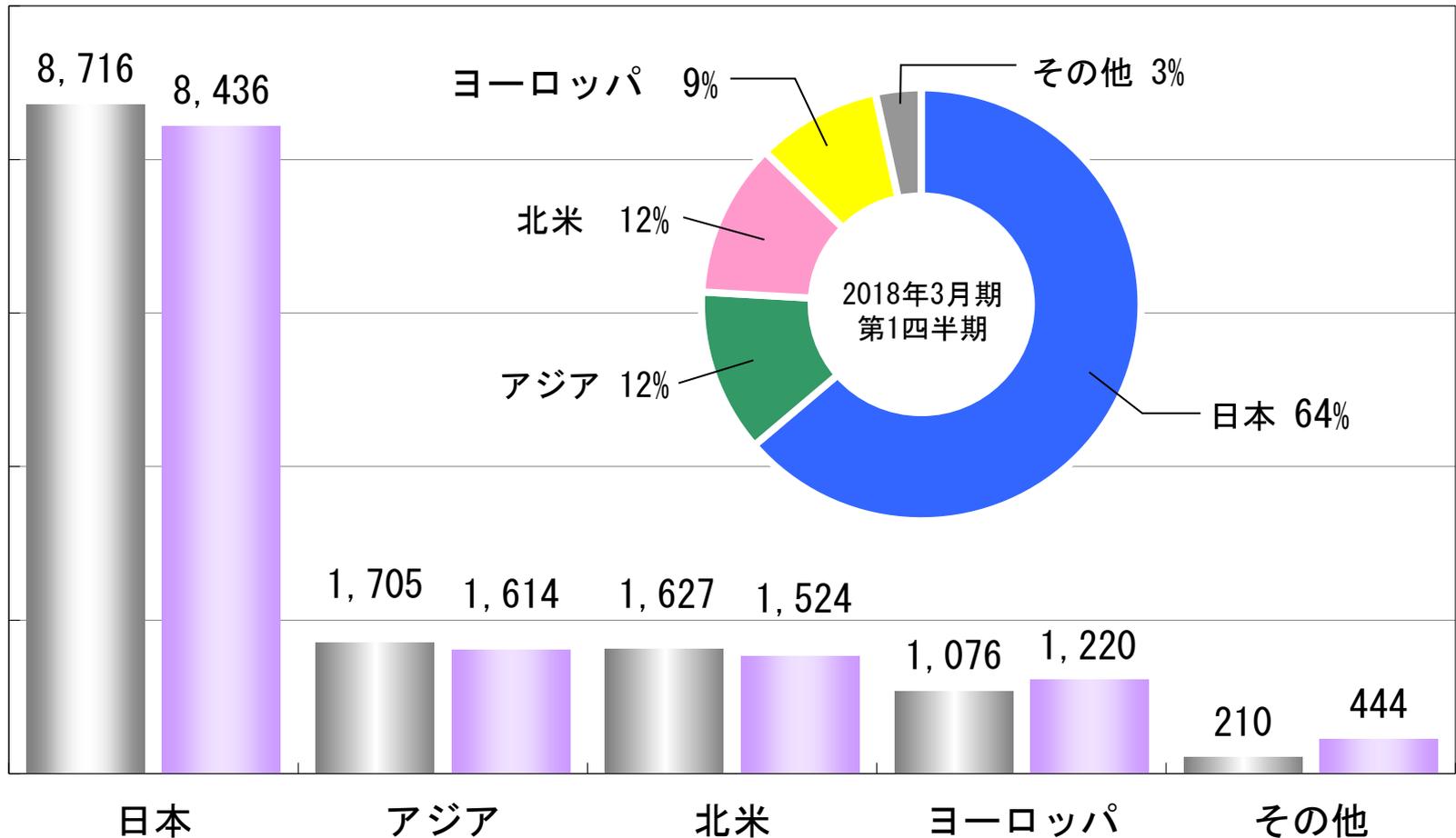
8,000

6,000

4,000

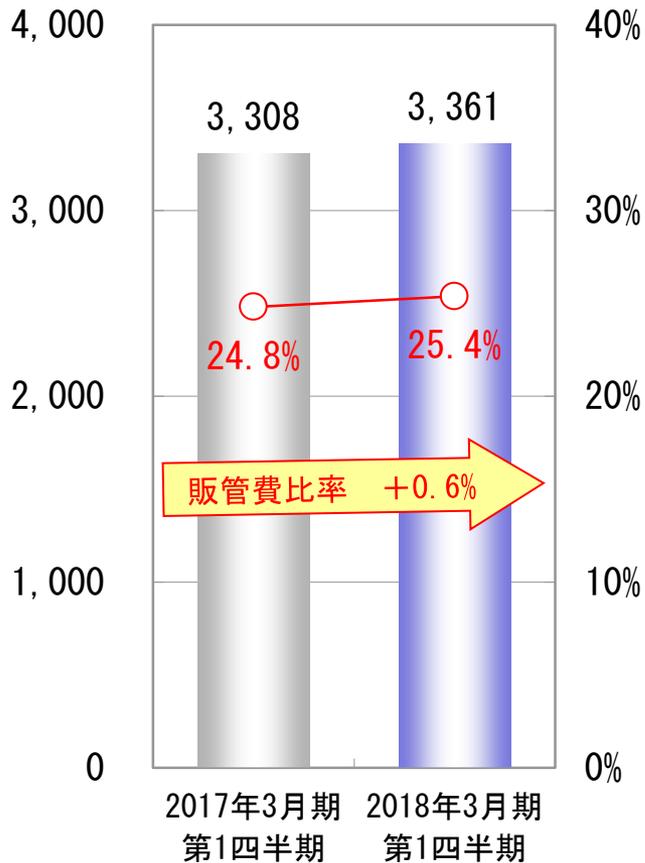
2,000

0



販売費及び一般管理費

百万円



百万円

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	1,442	1,454	12	0.9%
運 送 費	380	398	18	4.9%
研究開発費	335	301	△33	△10.1%
減価償却費	104	85	△18	△18.2%
そ の 他	1,047	1,121	74	7.1%
計	3,308	3,361	52	1.6%

経常利益：前期実績との比較

百万円



2017年3月期
第1四半期
経常利益

209

(△85)

売上総利益の減少

(△55)

販管費の増加

経常利益減少
60百万円

(19)

営業外収支の増加

60

為替影響額

2018年3月期
第1四半期
経常利益

148

()内は為替影響を除く

2018年3月期 通期連結業績予想



百万円

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	増減率
売上高	55,574	57,000	2.6%
営業利益	1,106	1,150	3.9%
経常利益	1,451	1,200	△17.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,182	700	△40.8%
1株当たり 当期純利益	24円26銭	※ 28円73銭	---

為替レート（期中平均）

米ドル	108.38円	110.00円	---
ユーロ	120.33円	120.00円	---
シンガポールドル	78.26円	79.00円	---

※2018年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

※日付： お知らせ開示日

-多用途透析装置「JMS透析用コンソール GC-X01」を開発

2017年6月7日

-株式併合、単元株式数及び定款一部変更に関するお知らせ

2017年4月19日

すいかんふんごう

-瘻管吻合補助器「JMS インナーシュアーエース」を製品化

2017年3月13日

-中国「大連CDDSテクニカルセンター」開設のお知らせ

2017年2月20日

多用途透析装置
「JMS透析用コンソール GC-X01」





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。